

有自來其逝也有所爲

(三) 左ノ各項ニ讀方ヲ附ケ解釋スベシ
不器用 無性 富潤屋德潤身 禮與其奢也寧儉

(四) 左ノ平假名ニテ記セル言葉ヲ漢字ニ改ムベシ

錨 いかり(船具) 瞬 同 しゆんかん(マタ、クヒマ)
注漢 くわつぱつ(勢ヨキコト) ばつこ(ワガマ、ニ振舞フコト)
けいれん(筋ノヒキツルイタミ) 鼓 屢

海軍機關學校

●國語及漢文 (釋讀)

全文ヲ普通文ニ直シ別ニ圈點ヲ施セル部分ヲ解釋セヨ

(一) 若し一定の格に泥んで、萬變の事を制せんとならば、いはゆる柱に膠して琴を鼓し、舟に刻みて劍を求むるなり。いかで變にあひ、宜しきになふべき。
(二) 梁の惠王、吾國に徑寸の珠ありて、車の前後二十乘を照すとて齊の威王に誇

(三) られしかば、威王、寡人四臣ありて千里を照す、何ぞ十二乗のみならんやと、いはれしには、惠王も慚づる色ありきとぞ。

(四) 日月迭に移りて白駒の隙過ぎやすく、衰病日に侵して黄金の術成りがたし。されば犬馬のよはひ、是まであるべしとも思はざりしが、いつしか老の波よ

(五) 高祖置酒洛陽南宮。問羣臣曰。吾所以得天下者何。項氏所以失天下者何。高起王陵對曰。陛下使人攻城略地。因以予之。與天下同其利。項羽不然。有功者害之。賢者疑之。戰勝而不予。人功。得地而不予。人利。高祖曰。公知其一。未知其二。夫運籌帷幄之中。決勝千里之外。吾不如子房。鎮國家。撫百姓。給餽餉。不絕糧道。吾不如蕭何。連百萬之衆。戰必勝。攻必取。吾不如韓信。此三人者。皆人傑也。吾能用之。此吾所以取天下也。

雁の使。 門下の高足。 拂底。 憑弔の客。
道破。 俳味。 捕拿。 一旦の命。 搖曳。

明治四十四年

第一二三四五六七八高等學校

●國語及漢文

(一) 左ノ文章ニ返點及送假名ヲ附シ且ツ解釋セヨ

劉安世從司馬溫公學。一日避席。問盡心行己之要可以終身行之者。公曰。其誠乎。吾平生力行之。未嘗須臾離也。安世問。行之何先。公曰。自不妄語始。

東北帝國大學農科大學

●國語及漢文

(一) 左ノ文章ヲ解釋セヨ

草木も昨日見しも今日見しもさして變らぬ様なれども誠と云ふもの少しの間断なき故にいつ太ることもなければども次第に太るものなり人の見ぬ間とて間断あらば草木も思ふままには伸びもせし深き谷の蘭も遙なる山の紅葉も人なし

とてもよく薫り美しく照ればこそ人至りたる時も香清く色麗しけれ人の至る

を待ちて香を放ち色を出さんとせば筈に合ふ事あるべからず常々心にかけて

帚灑したらん座席と俄に蜘蛛の圍取り柱拭きたらんとはいかで見まがふべき

人平生を嗜なますしてその期に臨み僞に飾らんは誠の俄掃除なるべし其肺肝

を見るが如しとて人欺くべからず我心を欺くなり

(二) 左ノ文章ニ返リ點ト送り假名トヲ附シ其意義ヲ解釋スベシ

蓋劉備之才、近似於高祖。昔高祖之所以自用其才者、其道有三耳。先據勢勝

之地、以示天下之形。廣收智勇之將、以自輔其所不及。有果銳剛猛之氣而不

用、以深折項羽猖獗之勢。此三事者、三國之君、其才皆無有能行之者。獨有

一劉備近之、而未至。

東京帝國大學農科大學實科

●國語及漢文

(一) 制馭天下、恩與威而已。恩懷之而威服之、相待而行。無恩則威不可以加、加之則

官立學校入學試驗問題

怨我。無威則恩不可以施。施之則不德我。夫使之怨我。固不可。使之不德我。水何以制馭之哉。足利氏之所以不能制馭天下者。無威而施恩也。

漢文には送假名を附すべし、

國文漢文には言文一致にて解釋すべし、

專門學校入學者檢定試驗

●漢文

- (一) 曾子曰十目所視十手所指其嚴乎富潤屋德潤身心廣體胖故君子必誠其意、
 - (二) 行遠傳後莫如簡牘雖一時應酬文字必須慎重不可苟且寫訖審讀一過而後封完、
以上二項、句讀返點送假字ヲ附シテ解釋セヨ
 - (三) イ、當仁不讓於師、
ロ、天然無親常與善人、
ハ、千里馬常有伯樂不常有、
ニ、桃李不言下自成蹊、
ホ、無恆產者無恆心、
- 右 解釋

東京高等師範學校

●漢文

- (一) 左ノ文ニ直ニ句讀、返點及送假名ヲ附シ解釋ハ別紙ニ認ムベシ
北宮黝之養勇也不膚撓不目逃思以一毫推於人若撻之於市朝不受於褐寬博亦不受於萬乘之君視刺萬乘之君若刺褐夫無諸侯惡聲至必反之
- (二) 左ノ文ニ直ニ句讀、返點及送假名ヲ附シ解釋ハ別紙ニ認ムベシ
燕趙古稱多感慨悲歌之士董生舉進士連不得志於有司懷抱利器鬱鬱適茲土吾知其必有合也董生勉乎哉

女子高等師範學校

●漢文

司馬溫公曰、光幼時、弄青胡桃。女兄欲脫其皮。不得、女兄去、一婢以湯脫之、女兄來問、光曰、自脫也、先公適見之、呵曰、小子何得謾語、光自是不敢謾語、

右精確ニ送假名ヲ施シ、意義ヲ通釋セヨ

- (一) 委曲
 - (二) 拔擢
 - (三) 薰陶
 - (四) 婦容
 - (五) 先妣
- 右讀方竝ニ意義ヲ示セ

各醫學專門學校

●國語及漢文

- (一) 左ノ文章ニ返點ト送假名トヲ附シ且ツ解釋セヨ
- (二) 凡爲學之初、必立欲爲大人之志、然後書可讀也。不然、徒貪聞見而已。則或恐長傲飾非。所謂假寇兵資盜糧也。可虞。

新潟醫學專門學校

●國語及漢文

- (一) 左ノ文ヲ通俗ナル口語ニテ解釋セヨ

後白河の御時兵革おこりて姦臣世をみだり天下の民ほとほと塗炭に落ちにき頼朝一臂を振ひてその亂を平げ王室は古きにかへるまで無かりしかど九重の塵もをさまり萬民の肩もやすまりしかば上下堵をやくすへし東より西よりその徳に伏しぬ

- (二) 左ノ漢文ニ返點及送假名ヲ施シ且之ヲ解釋セヨ
- (三) 夫人不能無友。而友不能皆賢。其賢者。固足以益我。其不賢者。實足以損我。我必擇其賢者而親之。有過相規。有善相勸。然後可以進德。此所謂擇友也。

熊本高等工業學校

●漢文

- (一) 左ノ全文ニ句讀訓點ヲ施スベシ
- 漢高祖六年人有上書告楚王韓信反上用陳平計爲遊雲夢會諸侯於陳信上謂命武士縛信載後車信曰果若人言狡兔死走狗烹飛鳥盡良弓藏敵國破謀臣亡天下已定臣固當烹遂械繫以歸赦爲淮陰侯上嘗從容問信諸將能將兵多少上曰如我能將幾

何信曰陛下不過將十萬上曰於君何如曰臣多多益辨上笑曰多多益辨何以爲我禽
曰陛下不能將兵而善將將此信所以爲陛下禽且陛下所謂天授非人力也
傍線ヲ付シタル箇所ノ意義

名古屋高等工業學校

●國語漢文

長崎高等商業學校

左の熟語の漢字(楷書體に)を記し且つ右側に線を引けるものは其意義を解け

- (一) キヤウ ラン ド タウ、 (二) バウ コ ヒョウ カ、
- (三) シキ、 (四) ユウ ワウ マイ シン、
- (五) イウ シヤウ レツ バイ、 (六) シゼン タウ タ、
- (七) フン トウ ド リヨク、 (八) コク スキ ホ ゾン、
- (九) クウ チウ ロウ カク、 (十) ハウ フク ゼツ タウ、

●國語及漢文

(一) 次の文中の縦線を施したる部分を解釋せよ

(1)容貌辭氣は徳行の華采なり縦ひ善徳の實ありとも (2)酸面薄相を以て他人
を待つものは決して人に親附せらるべからず又縦ひ心に邪惡なくとも傲慢な
る態を露はし (3)人に對して忤逆不快なる言を道ふものは誰にも離愛せらる
べからずたゞ外面を飾り言色を好くするを務とするは (4)輕佻浮薄として賤
しむべしと雖も (5)内に徳善の心だにあらば外貌は如何やうにてもよしと云
ふも亦餘りに矯劇に過ぎたり容貌辭氣は事の成敗得失に關係すること細小な
らず品行は何程端正信實なりとも外貌に發するもの溫和ならず恭敬ならずば
(6)其の施すところ博からず其の成就するところ限あるべきは當然のことなり

(三) 次の文を素讀の通り假名交文に書き改めよ

(イ) 古之善治其國而愛養斯民者。必立經常簡易之法。使上愛物以養其下。
下勉力以事其上。上足而下不困。

(ロ) 登蓮嶽之絶頂。以四望。山如蟻蛭。而海似盃。風在下而雲霏衣袂。令
人胸豁神往。翻乎有遺世之想。是亦人生之至快樂也。

山口高等商業學校

●國語及漢文

- (一) 日本帝國が開關以來絶海に孤立し世界の腐敗の外に超越し清潔美麗なる風土山川に養育せられ君臣父子夫婦朋友の道正しく殆ど理想的の國家を經營し來れるもの他日大に世界の腐敗を掃蕩するが爲にはあらざるか天下の微弱を扶持誘掖し驕傲無禮を掣肘壓倒し世界の私心を根絶し道德上の帝王となりて世界に君臨するは日本が世界の文明に對してなすべき最大寄與にあらざるか。
- (二) 業精於勤荒於嬉行成於思毀於隨、
小人之過也必文、
夫天地之間物各有主苟非吾之所有雖一毫而莫取惟江上之清風與山間之明月耳得之而爲聲目遇之而成色取之無禁用之不竭是造物者之無盡藏也、

小樽高等商業學校

●國語及漢文

韓生說項籍曰關中阻山帶河四塞之地可都以霸籍見秦宮室皆已燒殘又思東歸曰富貴不歸故鄉如衣繡夜行耳韓生退曰人言楚人沐猴而冠果然籍聞之烹韓生

右句讀訓點及——線字句解釋

古諺云天助自助者旨哉言僅僅四字中包許多人事成敗之迹蓋自助者謂以己之精神自助而不假他人之助

右句讀訓點

盛岡高等農林學校

●漢文

孟軻鄒人也受業子思之門人道既通遊事齊宣王不能用適梁梁惠王不果所言則見以爲迂遠而關於事情當是之時秦用商君富國強兵楚魏用吳起戰勝弱敵齊威王用孫子田忌之徒而諸侯東面朝齊天下方勝於合從連衡以攻伐爲賢而孟軻乃述唐虞三代之德是以所如者不合退而與萬章之徒序詩書述仲尼之意作孟子七篇

古之學者必有師師者所以傳道業受解惑也人非生而知之者孰能無惑惑而不從師其爲惑

也終不解矣生乎吾前其聞道也亦先乎吾吾從而師之生乎吾後其聞道也先乎吾吾從而師之也夫庸知其年之先後生於吾乎

右二文ニ句讀、訓點、ステ假名ヲ附スベシ

遼遠

剎那

豹變

蛇足

思過半

彷彿

持論

壟斷

躊躇

紛糾

右語句ヲ意解セヨ

水産講習所

●漢文

夫立志亦不易矣子聖人也猶曰吾十有五而志于學三十而立立者立志也雖至於不踰矩也志豈可易而視哉

右の文章に句讀訓點を附し其意義を解釋すべし

商船學校

●漢文

德川秀忠幼時使人讀書而聽粹有怒牛登堂奔突戶障左右錯愕失措秀忠神色自若閱書不輟豐臣太閤與諸將觀猿樂有虎破檻出走攀堂階諸將或起或走虎進向加藤清正清正按劍叱之轉近秀忠座秀忠坐睨之虎乃去

陸軍地方幼年學校

●讀書

(一) 左ノ文ニ讀ム通りノ假名ヲ附ケヨ例ヘバ「センザンハナ全山花ノ雲クモニ包ツツマル」ノ如シ

百歳ノ長命ヲ保チテ、一生ヲ空シク坐食ニ費ス者アリ。二三十歳ノ短命ニシテ、能ク美名ヲ萬世ニ遺ス者アリ。

人生ノ長短ハ、事業ノ大小ヲ以テ度ルベク、年齒ノ多少ヲ量ルベカラズ、之レヲ思ヘバ、學ビノ庭ニ集ハンモノハ、撓マズ倦マズ、奮勵シテ、一寸ノ光陰モ輕ンズカラズ。

米穀ノ類ニハ、粳米アリ、糯米アリ、大麥アリ、小麥アリ、裸麥アリ、蕎麥アリ、豆アリ、皆國民ノ資リテ以テ食トナス所ノモノナリ。

官立學校入學試驗問題

(三)

一、左ノ語ヲ口語ヲ用ヒテ判カリ易キヤウニ解釋セヨ
郷國ヲ愛慕スル情 企圖ノ才ヲ具セル俊傑
胸襟ヲ披ク 慇懃ナル待遇

二、左ノ語ノ右傍ニ讀方(振假名)ヲ記セヨ例ヘバ「眞心」ノ如シ
次第書 稽古衣 舞樂場 食卓 落葉松 關所ノ切手

三、左ノ語ノ左傍ニ漢字ヲ記セ例ヘバ「しきしま」ノ如シ
このゑしだん(軍隊ノ名) 敷島 みづほのくに
からふと やまごころ くすのきまさしげ

(三)

一、左ノ語ヲ下段ニ口語ヲ用ヒテ判カリ易キヨウニ解釋セヨ
活動 貯蓄 無盡藏

二、左ノ歌句ヲ下段ニ口語ヲ用ヒテ分リ易キヨウニ解釋セヨ
さざれいしの いはほとなりて

こけのむすまで

萬世一系動きなき

あまねき光仰ぎ見る

我が皇室の大みいづ
同胞ここに五千萬

陸軍士官候補生

● 讀書

(一)

左ノ文ニ返リ點送り假名ヲ附スベシ
嗚呼士窮乃見節義。今夫平居里巷相慕悅。酒食游戲相徵逐。詡詡強笑語。以
相取下。握手出肺肝相示。指天日涕泣。誓生死不相背負。真若可信。一旦臨
小利害僅如毛髮比。反眼若相不識。落陷穽。不一引手救。反擠之。又下石焉
者。皆是也。此宜禽獸夷狄所不忍爲。而其人自視以爲得計。聞子厚之風。亦
可以少愧矣。

(二)

左ノ文ニ句讀返リ點ヲ附シ且ツ符線ノ語句ヲ解釋セヨ
山陽先生爲人癯瘦體高眉蹙眼采炯炯望之有威性峻峭不能包容尋常之人常慨昇
平日久士氣不振故以氣節自持亦以導人未嘗屈己隨人浮沈求容其去國誓曰已不
能仕父母之國不復著朝服見貴人在備後茶山翁嘗欲薦之我藩先生作書辭之入京
後每聞國侯朝江戸往來過伏見必著袴南嚮望拜諸藩多聘之皆固辭不應

(三)

左ノ文ヲ口語ヲ用ヒテ解釋シ尙ホ符線ノ語句ニ讀方(振假名)ヲ附セヨ

新羅王誓ヒテ曰ク設令太陽西ヨリ出デ、阿利那禮河逆流ストモ、朝貢ヲ闕ク
コトナク、舟楫ヲ乾サズ、馬梳馬鞭ヲ天廡ノ隸ニ獻セン。後世子孫若シ此ノ
盟ヲ渝ヘハ祇神天地共ニ極罰セン。

與其有譽於前孰若無毀於其後、與其有樂於身孰若無憂於其心。

(四) 一、左ノ語ノ右傍ニ讀方ノ假名ヲ附ケヨ

天然 賁臨 供奉 成佛 矛盾 素面

二、左ノ句ヲ下段ニ漢文ニ改作セヨ

工其ノ事ヲ善クセント欲セバ先ヅ必ズ其ノ器ヲ利クセヨ

尺蠖ノ屈スルハ以テ信ヲ求ムルナリ王臣蹇蹇トシテ躬ノ

故ニ匪ズ難ニ臨ンデ苟モ免ルルコト勿レ

三、左ノ諺ヲ文語ニテ解釋シ且ツ漢字ニ讀ミ方ノ假名ヲ附セヨ

正直ノ頭ニ神宿ル引漸ニ油斷スナ

刀ハキルルガ名作

海軍兵學校

●國語及漢文

(一) 左ノ文ノ右傍ニ讀ム通リニ片假名ヲ附スベシ

例ヘハ境內皆言レ兵藏ケイダイミナイヒヘイナヂウソルソノハイヘゴトニアリコレシカウシテヘイヨイヨシイフダカヒラモノハナキ孫吳之書者家有之而兵愈弱言戰者多カフキルチモノハスケナクレバナリ披甲者少也

兵有形。有勢。有機。形生勢。勢生機。機者難見而易變者也。隨時而變。隨處而變。如勢與形。必有大而可見。確而不變者。因其形而制其勢。因其勢而決其機。是將之智也。

(二) 左ノ文ニ送假名及返點ヲ附スベシ

正成族和田某請逆戰。曰。我已勝五千。何有於五百。正成默然良久曰。勝敗之機。在離同。不在衆寡。公綱素負勇名。而以寡兵承敗。其將士同心於死可知也。我藉使克之。能無失亡。吾受大任。前途甚遠。而首傷我士。後誰爲我用者。吾將不戰而屈之也。

(三) 左ノ文ヲ解釋スベシ

戦ひ屈したる楠が勢を、弊に乘りて討たんとて、武田伊豆守、七百餘騎にて進みたり。楠が二陣の勢、千餘騎にてかゝり合ひ、二手に颯と分れて、一人

も餘さじと取籠むる。汗馬東西に馳せ違ひ、追ひつ返しつ旌旗南北に開き分れて、巻くりつ巻られつ、互に命を惜まで、七八度まで揉み合ひたるに、武田が七百餘騎、残すくなに討るれば、楠が二陣の勢も、大半疵を被りて、朱になりてぞ控へたる。

(四) (イ) 領袖 (ロ) 掣肘 (ハ) 寒心 (ニ) 破天荒

(ホ) 脾肉之歎

右讀ミ方ヲ附シ解釋スベシ

(五) (イ) ていちよう (デアツキコト)

(ロ) はんらん (水ノミナギリアフルルコト)

(ハ) かつさい (ドヨメキホルル聲)

(ニ) ぐわかい (クヅル、コト)

(ホ) けねん (シンバイ)

右平假名ノ言葉ヲ漢字ニテ書ケ

海軍機關學校

●國語及漢文 (釋讀)

(一) その人清耀、衣に勝へざるが如しといへども、精力卓拔、古書典籍の堆き間に兀坐して、勤めて倦まず。また羈旅を好みて、足跡の及ぶところ海内に普く、山川の景を賞し、古美術を探りて、丹青の技日に進む。

(二) 代々の聖主、遠くは承久の宸襟を休めんがため、近くは朝儀の陵廢を歎き思召して東夷を亡さばやと、常に叡慮を回らされしかども、或は勢微にしてかなはず、或は時未だ到らずして、もだし給ひけり。

(三) 鶴樓雖好泛交、然獨推白石爲泰山北斗、事之最恭。曰予陋巷一匹夫、而所以辱諸公交友者、特爲有先生耳。白石歿後談及之、雖酣醉淋漓、必嗚咽慟哭不已。初白石在時、每歲中秋來遊其家、飲酒賦詩以爲常。及歿、每遭中秋、謝客閉門、終日不沾涓滴。

右(一)(二)(三)ヲ平易ナル口語ニ改メ別ニ黑點ヲ施セル部分ヲ解釋セヨ

(四) 率爾 巷說 含羞 北堂 纏頭 執拗 素餐 齷齪 逆旅

杜撰

右解釋セヨ

(五) (イ) 人ヲオダテル。

- (ロ) ワルイ夢ヲ見テ、キモチガワルイ。
 - (ハ) ウツカリシテ居ルト、シクジル。
 - (ニ) 目ノマハルヤウニ、イソガシイ。
 - (ホ) 月日ノタツノハ、ハヤイモノダ。
- 右文章體ニ改メヨ

海軍經理學校

●漢文

- (一) 所貴於士以其有氣節無氣節非士也士之有氣節不獨以立其一身也足以維持國家定天下之安危
 - (二) 宮中府中俱爲一體陟罰臧否不宜異同若有作姦犯科及爲忠善者宜付有司論其刑賞以昭陛下平明之治不宜偏私使內外異法也
 - (三) 忠孝无二、文武不岐、撥亂反正、以逸待勞、託孤寄命、小心翼翼、
- 右句讀返リ點及ビ送リ假名ヲ附シ解釋スベシ

右讀方ヲ附シ解釋スベシ

明治四十五年(大正元年)

第一二三四五六七八高等學校

●國語及漢文

- (一) 左ノ文章ニ返點及送假名ヲ附ケ且ツ解釋セヨ
- 豐太閤磊磊落落氣象。頗似石勒。而膽略殆過之。其代織田氏興。雖未免欺孤兒寡婦。而掃蕩海內。以濟二百餘年塗炭之民。其功誰及之者。惜乎能救亂而不能成治也。

東北大學農科大學

●漢文解釋

官立學校入學試驗問題

(一) 左ノ文章ニ返リ點ト送り假名トヲ附シ且其意義ヲ解釋スベシ
 夫聖人之兵、皆出於不得止。故其勝也、享安全之福。其不勝也、必無意外之患。後世用兵、皆得止而不止。故其勝也、則變遲而禍大。其不勝也、則變速而禍小也。是以聖人不計勝負之功而深戒用兵之禍。

東京帝國大學農科大學實科

(一) 士之能享大名顯當世者、莫不有先達之士。負天下之望者、爲之前焉。士之能垂休光照後世者、亦莫不有後進之士。負天下之望者、爲之後焉。莫爲之前、雖美而不彰。莫爲之後、雖盛而不傳。是二人者未始不相須也。
 漢文には送假名を附すべし
 國文漢文ともに言文一致にて解釋すべし

東京高等師範學校

●漢文

(一) 左ノ文ニ直ニ句讀、返點及送假名ヲ附シ解釋ハ別紙ニ認ムベシ
 得道者多助失道者寡助寡助之至親戚畔之多助之至天下順之以天下之所順攻親戚之所畔故君子有不戰戰必勝矣

(二) 左ノ文ニ直ニ句讀、返點及送假名ヲ附シ解釋ハ別紙ニ認ムベシ
 卞莊子欲刺虎館豎子止之曰兩虎方且食牛食甘必爭爭則必鬪鬪則大者傷小者死從傷而刺之一舉必有雙虎之名卞莊子以爲然立須之有頃兩虎果鬪大者傷小者死莊子從傷者而刺之一舉果有雙虎之功

各醫學專門學校

●國語及漢文

(一) 左ノ文章ニ返點及送假名ヲ附シ且ツ解釋セヨ
 菅原道真。歷事五朝。尤爲宇多帝所親任。帝嘗好游獵。道真諫止之。隨事獻替。多所匡救。及被配。閉門不出。託文墨自遣。雖謫居無聊。未嘗必忠愛之意。

新潟醫學專門學校

●國語及漢文

- (一) 左ノ漢文ニ返點及送假名ヲ施シ且之ヲ解釋セヨ
 漢高祖問韓信曰。如我能將幾何。信曰。陛下不過將十萬。高祖曰。於君何如。曰。臣多多益辨。高祖曰。多多益辨。何以爲我擒。曰。陛下不能將兵。而善將將。此信所以爲陛下擒。且陛下所謂天授。非人力也。

熊本高等工業學校

●漢文

- 左ノ全文ニ句讀訓點ヲ施スベシ
 (一) 蓬生麻中不扶而直
 (二) 木強則折革固則裂齒堅於舌而先之敵

米澤高等工業學校

●國語及漢文

- 左ノ文ニ句讀、返リ點、送り假名ヲ施シ且ツ解釋セヨ
 (一) 余嘗遊嵐山懸賞至夕不能去既遇月出益覺嬋娟遂留宿焉翌早候旭日升復出觀之芳霧溢溪山又爲一奇於嵐山之景庶幾盡之
 (二) 今兩虎鬪其勢不俱生吾所以爲此者先國家之急而後私讎也頗聞之肉袒負荆詣門謝罪遂爲刎頸之交

東京高等商業學校

- (一) 左ノ文章ニ返點ト送假名トヲ施シ傍線ヲ附シタル箇所ヲ餘白ニ解釋スベシ
 趙簡子之子。長曰伯魯。幼曰無恤。將置後。不知所立。乃書訓戒之辭於二簡以授二子曰。謹識之。三年而問之。伯魯不能舉其辭。求其簡。已失之矣。無恤誦其辭甚習。求其簡。出諸懷中而奏之。於是簡子以無恤爲賢。以爲後。簡子使尹鐸爲晉陽。請曰。以爲繭絲乎。抑爲保障乎。簡子曰。保障哉。尹鐸

損其戶數。簡子謂無恤曰。晉國有難。而無以尹鐸爲少。無以晉陽爲遠。必以爲歸。

長崎高等商業學校

●國語及漢文

(一) 左の文を解釋せよ

甲、世の人に名をだに知られずさもありげもなきものゝ中に思の外に砂の外
の玉泥の中の蓮など云はむさまの人はあるべし。

乙、舊臘來内訌の噂高かりし彼の會社にては依然として姑息なる手段を弄し
今日に至るまで未だ一人の役員を黜陟したるを聞かず。

丙、彼等をば既に自家藥籠中のものとはなしたれども窮鼠猫を囓む譬もあれ
ば尙此の上の用心こそ望まほしけれ。

(二) 左の文を素讀の通り假名交文に書き改めよ

行遠傳後莫如簡牘雖一時應酬文字必須慎重不可苟且寫訖審讀一過而後封緘

(三)

左の文中片假名にて記したる部分を漢字にて示せ
「ハンクワ」なる都會の地には「フケツ」「フケンカウ」なる無數の「イウワクブ
ツ」の「イタ」る處に「ヒソ」めるあり

山口高等商業學校

●國語及漢文

(一) 左ノ全文ニ句讀訓點ヲ施シ且之ヲ解釋セヨ

(イ) 夫過者自大賢所不免然不害其卒爲大賢者爲其能改也故不貴於無過而貴
能改過

(ロ) 子曰譬如爲山未成一簣止吾止也譬如平地雖覆一簣進吾往也

小樽高等商業學校

●國語漢文

(一) 天下不能無強弱國家不能無盛衰而英雄豪傑將大有為於積衰積弱之餘必也踵厲風發一新天下之耳目然後能變衰弱為強盛譬之暴雪猛雨飄忽震蕩萬物殆為之摧碎然後天地開霽日月如新故英雄事業不可以常理論也

右句讀訓點及傍線字句解釋

- (三) (イ) 布衣 (ロ) 一にして足らず (ハ) 覆載の間 (ニ) 曠日
 彌久 (ホ) 浮世のさが (ヘ) 蒲柳の質 (ト) 名詮自稱
 右字句を解釋すべし

盛岡高等農林學校

●漢文

- (一) 剛柔者性也不可變然善惡因所習而移剛惡者習而為剛善柔惡者習而為柔善用功久則無不可變之理所謂習而成性慣如自然也
- (二) 言行順理譬如行路止則滯趨則仆不止不趨徐徐而進耳
- (三) 知人亦一難事然學者須先識自家不識自家而論人何得允當

(四) 屈原曰舉世皆濁我獨清衆人皆醉我獨醒是以見放漁父曰聖人不凝滯於物而能與世推移世人皆濁何不濁其泥而揚其波

右各文ニ句讀、訓點、ステ假名ヲ附スベシ

- (五) 濫觴 落魄 擲揄 蒙塵 無稽 迂遠 不毛 抹殺

詭辯 忌憚

右語句を意解せよ

商船學校

●漢文

(一) 左ニ句讀、訓點ヲ施シ講述セヨ

賊軍乘勝而進義貞軍兵庫飛書告急朝廷震動時北畠顯家已歸鎮京師兵寡帝命正成行援義貞正成答曰尊氏新舉九國而來其鋒甚銳我以疲兵格鬪無他奇道其敗必矣為今計者陛下復幸叡山召還義貞縱賊入京師而臣歸河內絕其糧道則賊兵日散我兵日聚於是夾而攻之可一戰而破也義貞之計蓋亦出之

官立學校入學試驗問題

水産講習所

●漢文

- (一) 孟子曰徐行後長者謂之弟疾行先長者謂之不弟夫徐行者豈人所不能哉所不爲也
世之人不知咎其不爲而歸咎於其不能其亦不思而已矣
 - (二) 右の文章に句讀訓點を附し別紙に其意義を解釋すべし
 - (三) 繡縫 拋擲 顛末 蒐集 棄却 偏頗 曝露 認諾
轟然 蠢動
- 右の語の右傍に片假名にて字音を附し下に意義を解釋すべし

陸軍地方幼年學校

●讀書

- 左ノ文ニ讀ム通リノ假名ヲ附ケヨ例ヘバ「清流雪ト散リ玉ト飛ブ」ノ如シ
- (一) 一、紫ニ紅ニ藍ニ墨ニ、見ル見ル色ドラレユク山影、淡ク濃ク青ク黒ク、消エ行ク人影、イヅレモ詩中ノモノナラヌハナシ。

二、現在ノ職務ニ忠實ナレバ、上下ノ愛敬信用、其ノ身ニ集マリ、心廣ク體ユタカナリ。是レ即チ遠キヲ慮ル所以ナリ。

- (二) 三、坂上田村磨ハ、怒ル時ハ、猛キ獸モ懼ヂ恐レ、笑フ折ハ、幼キ兒モ馴レ親ミタリト云フ。

- (三) 一、左ノ片假名ニ同ジキ平假名ヲ左傍ニ記セ例ヘバ「カキクケコ」ノ如シ
ワ キ ウ エ ラ ヲ

二、左ノ語ノ右傍ニ讀方(振假名)ヲ記セ例ヘバ「書翰文」ノ如シ
挨拶 吹聴 披露 同化作用 瓦斯分析 英國倫敦 醫術 珈琲

- 三、左ノ語ノ左傍ニ漢字ヲ記セ例ヘバ「こせんじやう」ノ如シ
古 戦 場

- (四) 一 おほいくさ てきみかた ゆみやがみ
かちまけ うちじに がいせんしき
- (三) 一、左ノ語ノ右傍ニ字音ノ假名ヲ附ケ下段ニ分リ易キヤウニ解釋セヨ
斑 點 櫛風沐雨 甲 冑 輔弼の臣 弔 祭
- 二、左ノ文ヲ下段ニ口語ヲ用ヒテ分リ易キヤウニ解釋シ且ツ施線ノ語ニ讀ム

通リノ假名ヲ附ケヨ例ヘバ「猛烈」ノ如シ

橋少佐殿は、銃丸五つを受け、殊に一弾は軍刀の鍔を貫き、腕を貫通致し候。然れども少佐殿は儼然として部下を激勵し此地決して敵手に委すべからずとて、數回敵の逆襲を撃退され候。

(四) 一、左ノ詩句ヲ解釋セヨ

恩賜の御衣なほこゝにありさしげもちて毎日餘香を拜す

二、左ノ文ヲ解釋セヨ

學問の道は、極めて廣大高妙にして、且つ深奥なり。

陸軍士官候補生

● 讀書

(一) 左ノ文ニ句讀返リ點送り假名ヲ附クベシ

凡兵戰之場止屍之地必死則生幸生則死其善將者如坐漏船之中坐燒屋之下使智者不及謀勇者不及怒受敵可也故曰用兵之害猶豫最大三軍之災生於狐疑行師之

要首在乎明山川之阨塞審道路之險夷必其曲折隱微洞悉於心目之間而後設伏進兵威中要害

(二)

所貴於士。以其有氣節。無氣節非士也。士之有氣節。不獨以立其一身也。足以維持國家。定天下之安危。國之有士氣也。猶家之有柱也。舟之有楫也。舟無楫則覆。家無柱則傾。國無士氣則亡。吾觀於和氣清磨之事。有以知之。神龜寶字之際。朝廷之士。可謂無氣節矣。橘諸兄以華胃。位極正一位矣。聖武之感溺婦言。事無興造。不聞其一言匡救之也。帝之慶廬舍那佛也。與皇后皇太子。備儀衛往。諸兄爲後乘。合掌膜拜。以當萬衆之觀。而不恥也。吉備眞備。以儒學受寵兩朝。位至大臣。稱爲帝師矣。玄昉之濁亂宮闈。而熟視之而已。仲滿之驕橫。道鏡之僭竊。而如不聞知。相率拜賀。仰爲法王。而不恥也。觀此二人之所爲。可以推其他矣。

(三)

子路曰。子行三軍則誰與。子曰。暴虎馮河。死而無悔者吾不與也。必也臨事而懼。好謀而成者也。

(四)

一、左ノ語ノ右傍ニ漢音、左傍ニ吳音ヲ附ケヨ
成就。名聞。男女。萬歲。

二、左ノ語句ヲ下段ニ漢文ニ改作セヨ

善ヲ善トシ惡ヲ惡トスルノ志アリ。衆人ハマサニ分陰ヲ惜ムベシ。

過チテハ則チ改ムルニ憚ルコトナカレ。

三、左ノ文句ノ漢字ニハ讀方ノ假名ヲ附ケ文意ハ文語ニテ解釋セヨ

之レヲ死地ニ陷レテ而シテ後ニ生ジ之レヲ亡地ニ置キテ而シテ後ニ存ス。

君子ハ其ノ位ニ素シテ行フ。猿ニ烏帽子。

海軍兵學校

●國語及漢文

(一) 左ノ文ノ右傍ニ讀ム通リニ片假名ヲ附スベシ例ヘバ

境內皆言兵藏カクイミナトイヒヘイラサウソスルソノシヨヲモノハイゴトニアリコソシカモヘイハイヨイヨワシイフタカヒヲモノハオホクシキル孫吳之書者カクイミナトイヒヘイラサウソスルソノシヨヲモノハイゴトニアリコソシカモヘイハイヨイヨワシイフタカヒヲモノハオホクシキル家有之而兵愈弱言戰者多披

(二) 甲者少也

古之君子過則改之。今之君子過則順之。古之君子其過也如日月之食民皆見之。及其更事民皆仰之。今之君子豈徒順之乎。又從而爲之辭。

(三) 左ノ文ニ送假名及返點ヲ附スベシ

正成兄弟回馬當之。血戰十六合。盡亡其騎。所餘七十二騎。猶可以潰圍。而

正成心不欲生。乃走入湊川北民舍。坐釋鎧。身被十一創。願謂正季曰。死而

何爲。曰願七生人間。以殺國賊。正成欣然曰。是獲吾心。耦刺而死。正成年

四十三。

(四) 左ノ文ヲ解釋スベシ

皇祖天照大神手づから三種の寶器を持ち、三句の要道を傳へ、日月と俱に懸

り、天地と與に朽ちざる者なり。瓊玉を傳ふるは、其の身を修め克く妙なら

しめんと欲するなり。寶鏡を傳ふるは、其の心を正し克く明かならしめんと

欲するなり。神劍を傳ふるは、其の知を致し克く斷たしめんと欲するなり。

身を修むること瓊の如くんば、傷害の厄なし。心を正しくすること鏡の如く

んば、毫釐の邪なし。知を致すの道他なし。向ふ所必ず仁に於てし。無慾己

を捨て、息らず、荒まず、民の爲に功あるものは、無私を以て即ち賞し。國

の爲に害あるものは、無私を以て即ち罰し。造次顛沛も喜怒の情を主とせず、

仁にして道に中る。此を以て得たりとなすなり。

(四) (イ) 當意即妙 (ロ) 鼓腹擊壤之民 (ハ) 懸羊頭賣狗肉

(ニ) 幹旋ノ勞 (ホ) 背水ノ陣

右讀ミ方ヲ附シ解釋ヲナスベシ

(五) (イ) くわんげい (手厚クムカヘルコト)

(ロ) きやうらんごたう (大キナナミノコト)

(ハ) りんき おうへん (場合ニシタガツテアチナスルコト)

(ニ) せんすゐてい (水中ヲハシルスヰライテイノ一種)

(ホ) らんまん (花ガサキミダレタルサマ)

右平假名ノ言葉ヲ漢字ニテ書ケ

海軍機關學校

●國語及漢文

(一) つら／＼國運推移の迹を察するに、常に二様の趨向の相並び相纏れて進むを見る。尙文の風と武斷の氣と、一方は華奢、一方は質素、彼は變化を好み、

(二) 此は秩序を貴ぶ。これらの趨向の古今に互りて起伏するさまは、恰も紅白二條の綱を一筋に纏りたるが如し。

(三) さても保元の亂は、前古未曾有の大變にして、天慶以後兵革動くこと屢々なれど、輦轂の下に於て、骨肉相鬪ぎ、道義地を拂ひしこと、此に過ぎたるはなかるべし。これより源平迭に時を得て、皇室陵夷の端全くこゝに開けぬ。

(四) 齊桓公出遊於野。見亡國故城郭氏之墟。問於野人曰。是爲何墟。野人曰。是爲郭氏之墟。桓公曰。郭氏者曷爲墟。野人曰。郭氏者善善而惡惡。桓公曰。善善而惡惡人之善行也。其所以爲墟者何也。野人曰。善善而不能行。惡惡而不能去。是以爲墟也。桓公歸以語管仲。管仲曰。其人爲誰。桓公曰。不知也。管仲曰。君亦一郭氏也。於是公招野人而賞焉。

右(一)(二)(三)ヲ平易ナル口語ニ改メ別ニ黑點ヲ附セル部分ヲ解釋セヨ

(四) 漁父の利。王佐の才。清談の徒。曠日彌久。好下物。

肯綮。噉飯。皮相。噬臍。鷹揚。

右解釋セヨ

(五) (イ) 貧乏ひまなし。 (ロ) うれしさうな顔をして居る。 (ハ) しり込

(一) みして進み得ない。(二) 馱法螺を吹く。(ホ) 眞つ暗で一才先が分らぬ。

右雅語ニ改メヨ

海軍經理學校

●漢文

(一) 重盛願讓諸弟曰今日之事縱令公老耄發事子等何不匡救乃德通之也出敕將士曰欲從公赴院者見重盛頸首然後行也乃還小松第既夜憂慮弗能措夫老人者以爲子房才有餘而憂其度量之不足故折其少年剛銳之氣使之忍小忿而就大謀何則非有平生之素卒然相遇於草野之間而命以僕妾之役油然而不怪者此固秦皇之所不能驚而項籍之所不能怒也

(二) 右ノ文章ニ句讀訓點及ビ解釋ヲ附スヘシ

(三) 量入爲出 無恆產者無恆心 滿招損謙受益 柔能制剛 優游不斷

右ノ語ニ解釋ヲ附スヘシ

大正二年

第一二三四五六七八高等學校

●漢文

左ノ文章ニ返點及送假名ヲ附ケ且ツ解釋セヨ

- (一) 人涉世如行旅然。途有險夷。日有晴雨。畢竟不得避。只宜隨處隨時相緩急。勿欲速以取災。勿猶豫以後期。是處旅之道。即涉世之道也。
- (二) 范文正公少有大節。其於富貴貧賤毀譽歡戚。不一動其心。而慨然有志於天下。嘗自誦曰。士當先天下之憂而憂。後天下之樂而樂也。

東北帝國大學農科大學

●漢文解釋

(一) 左ノ文ニ返リ點ト送り假名トヲ附スヘシ

官立學校入學試驗問題

凡牧民者。欲民之正也。欲民之正者。則微邪不可不禁也。微邪者。大邪之所生也。微邪不禁。而求大邪之無傷國。不可得也。

(三) 左ノ文ノ解釋ヲ餘白ニ記スベシ

一年之計。莫如植穀也。十年之計。莫如植木也。終身之計。莫如植人也。一植一穫者穀也。一植十穫者木也。一植百穫者人也。我苟植之。如神用之。舉事如神。唯王之門。

東京帝國大學農科大學實科

●國語及漢文

(一) 鎌倉公、出途、見一老頭陀。風韻頗高。使人問之。即西行也。公素欽行名。乃大喜延請。行乃至府。行本將家子孫。少壯練習武事。公因請問其略。行曰、自乘以來。家世所傳、亦已散亡。今乃風月之外、都無所記。然亦不甚拒。為公談兵一夕。乃且將出。公苦留。不可。乃出銀造猫、為贈。行受而出。門前見兒嬉、便與之去。

專門學校入學者檢定試驗

●漢文

(一) 體解。

解體。

寒心。

甘心。

居諸。

白眉。

滄桑變。

風木悲。

枉尺直尋。

糟糠不飽者不務梁肉。

右餘白ニ解釋ヲ附スベシ

(二) 豺狼路ニアタル安ゾヨリヲ問ハン

舜ハリツス井ノ地ナク以テ天下ヲ有ス

嶄然トシテ頭角ヲアラハス

其名天下ニアラハル

セキシシテ推シテ人ノ胸中ニ置ク

官立學校入試問題

右各語ヲ漢文ニ改ムベシ

(三) 喧。暄。做。敵。默。黜。哲。哲。祖。粗。未

右各字ニ一字ヲ加ヘ熟語トナスベシ。添字ハ上下隨意

(四) 文帝性嚴重。勤於政事。令行禁止。雖膏於財。賞功不吝。愛養百姓。勸課農

桑。輕徭薄賦。自奉儉薄。天下化之。

右返點、送假名ヲ附シ餘白ニ講義ヲ記スベシ

東京高等師範學校

●漢文

左ノ文ニ直ニ句讀、返點及附假名ヲ送シ解釋ハ別紙ニ認ムベシ

(一) 居下位而不獲於上民不可得而治也。獲於上有道不信於友弗獲於上矣。信於友有道事親弗悅弗信於友矣。悅親有道反身不誠不悅於親矣。誠身有道不明乎善不誠其身矣

(二) 李斯者楚上蔡人也。年少時爲郡小吏。見吏舍廁中鼠食不潔。近人犬數驚恐之。斯入倉

觀倉中鼠食積粟。居大廡之下。不見人犬之憂。於是李斯乃嘆曰。人之賢不省。譬如鼠矣。在所自處耳。

廣島高等師範學校

●漢文

(一) 舜發於畎畝之中。傅說舉於版築之間。膠鬲舉於魚鹽之中。管夷吾舉於士孫叔敖舉於海。百里奚舉於市。故天將降大任於是人也。必先苦其心志。勞其筋骨。餓其體膚。空乏其身。行拂亂其所爲。所以動心忍性。增益其所不能。人恆過然後能改。困於心。衡於慮。而後作。徵於色。發於聲。而後喻。入則無法家拂士。出則無敵國外患者。國恆亡。然後知生於憂患而死於安樂也。

(二) 岳飛至孝。母有痼疾。藥餌必親。母卒。水漿不入口者三日。家無姬侍。吳玠素服飛。願與交。玠飾名姝遺之。飛曰。主上宵旰。大將安樂時。却不受玠益。敬服少。豪飲帝戒之。曰。卿異時到河朔。乃可飲。遂絕不飲。帝初爲飛營第。飛辭曰。敵未滅。何以家爲。或問天下何時太平。飛曰。文臣不愛錢。武臣不惜死。天下平矣。

以上句讀訓點解義

- (三) 血食 (二) 噬臍 (三) 社稷 (四) 陳迹 (五) 宇宙
 - (六) 儕短 (七) 羽觴 (八) 虛誕 (九) 彭殤 (十) 逆旅
 - (十一) 杜撰 (十二) 越俎 (十三) 元首 (十四) 忠貞 (十五) 匪躬
 - (十六) 本枝百世 (十七) 秉燭夜遊 (十八) 朝不及夕 (十九) 天倫樂事
 - (二十) 桀狗吠堯
- 以上意義ヲ解釋スベシ

各醫學專門學校

●漢文

左ノ文章ニ返點及送假名ヲ附シ且ツ解釋セヨ
 許魯齋、嘗暑中過河南、渴甚。道有梨。衆爭取啖之。魯齋獨危坐樹下不顧。或問之曰、非其有而取之不可也。或曰、世亂梨無主。曰、梨無主、吾心獨無主乎。

新潟醫學專門學校

●國語及漢文

(一) 左ノ漢文ニ送假名ヲ施シ且之ヲ解釋セヨ
 後漢孝章皇帝、知人厭苛切、事從寬厚。文之以禮樂。嘗議貢舉法。韋彪議曰、國以簡賢爲務、賢以孝行爲首。求忠臣必於孝子之門。帝然之。

米澤高等工業學校

●國語及漢文

(一) 左ノ文ニ句讀、返リ點及ビ送リ假名ヲ施シ、傍線ヲ附シタル字句ヲ解釋セヨ
 義經之向鵜越也路險夜黑令辨慶索鄉導辨慶認火光得一人家見翁嫗對坐告以故翁曰小人以獵爲業請知山路而今老矣有一兒膽氣可用呼起從辨慶謁義經義經執火視之長身高額持獵弓矢問其齒曰十七義經爲冠之命姓名曰鷲尾經春給鎧仗以爲鄉導

(三) 左ノ文ニ句讀、返リ點及ビ送リ假名ヲ施シ且全文ヲ解釋セヨ

官立學校入學試驗問題

書曰紂有臣億萬惟億萬心周有臣三千惟一心紂之時億萬人各異心可謂不為朋友然紂以此亡國周武王之臣三千人為一大朋而周用以興

東京高等商業學校

●國語漢文

- (一) 左ノ文章ニ反點送假名ヲ附ケ傍線ノ箇所ハ餘白ニ解釋スベシ
陽武人陳平、家貧好讀書、初事魏王咎、不用、去事項羽、得罪亡、因魏無知求見漢王、王與語悅之、拜為都尉典護軍、平受諸將金、周勃灌嬰等言之於王、王召讓無知、無知曰、臣所言者能也、大王所問者行也、今有尾生孝己之行、無益勝負之數、大王何暇用之乎、王又讓平、平曰、臣裸身來、不受金、無以為資、誠臣計有可采、願大王用之、使無可用者、金具在、請封輸官、得請骸骨、王乃謝、厚賜之、拜護軍中尉、盡護諸將、

長崎高等商業學校

●國語漢文

- (一) 左の文を素讀の通り假名交に書き改めよ
江河之水滔滔流而巳者有其本使之然也。今有治水者焉從事下流築堤如城壁而水猶壞決氾濫不止如之何則可。曰由其本治之也已。
- (二) 左の語を解釋し其の讀み方を記せ
(イ) 日和 (ロ) 路普請 (ハ) 月旦 (ニ) 荏苒
(ホ) 杞憂 (ヘ) 自家撞着

山口高等商業學校

●國語漢及文

- (一) 左の文章を書取り返り點及送り假名を附し且つ○點の箇所は別に之を解釋すべし
家有老父母而辭之遠遊勉強者每日清晨遙拜畢輒復思今日光陰實為可愛愛之日而費諸遊學闕定省曠濫清使父母懷遠望之憂為天地間一罪人矣然今日所學之業

乃重大事件有勝於定省者故競寸陰以成其業然後歸養奉歡僅足以贖其罪矣

神戸高等商業學校

●國語漢文

- (一) 左ノ文章大意ヲ三四行ノ短文ニ約メ答案記入ノ箇處ニ記載スベシ
 「語の創新なるをめづるは。人情の自然なれども。語は新しきをのみ。取るべきにあらず。古くよりいひふるしたる語の。今尙棄てがたきまゝあり。かゝる語は分外に幽玄の旨を含めることあり。更に敷衍せらるべきことあり。新しき解釋を容るゝことあり。語の創新ならざるを惡むは自然の風物の萬古一色なるを惡まむが如し。いかなる新釋を容るゝも餘あらむ語は。實に不易の妙語なり。その幽玄なるは自然その物にも比すべし。而してたぐひはひとり賢者詩人の語において見るのみにあらず。俚歌及び俗言のうちにもしばしばあり。」
- (二) 左ノ全文ニ返リ點及訓讀ノ捨假名ヲ加ヘヨ(解釋ヲ要セズ)

「七年己卯。夏四月辛未朔。天皇登臺。見烟氣多起。謂皇后曰。朕既富矣。復何憂乎。皇后曰。今宮室朽壤。不免暴露。何謂富乎。天皇曰。天之立君。本爲百姓。故君以百姓爲本。古昔聖王。一人饑寒。顧之責身。百姓貧則朕貧也。百姓富則朕富也。未有百姓富而君貧者矣。」(大日本史、仁德天皇紀)

- (三甲) 左記ノ語句中國文法上ノ誤アルモノヲ其文字ノ右傍ニ訂正スベシ(説明ヲ要セズ)

- (イ) 去らんと欲すれば去れ我必ずしも止めず
- (ロ) 人を遣りて見せしめたるに果して火災の起れるなり
- (ハ) 感謝に堪えず
- (ニ) 我が言う事を用いずば後に悔ふとも及ばじ
- (ホ) 今より其案を議さんぞす

- (三乙) 左記ノ假名ヲ字畫明瞭ナル漢字ニ書改メ答案記入ノ箇處ニ記載スベシ
- (ヘ) バクダイ(最モ大ナリトイフ事) 漢大
- (ト) シコウ(スキコノム事) 旨好
- (チ) ヒダ(國名) 飛騨

- (リ) ツシマ(國名)
- (ヌ) ヘイガイ(ガイアルコト)
- (ル) ソウサク(サガスコト)
- (ヲ) ゼンゴサク(跡始末ヲツクル事)
- (ワ) ジツセンキユウカウ(實地ニフミオコナフ事)

● 讀 書

- (一) 左ノ全文ヲ簡明ニ解説シ答案記入ノ箇處ニ記載スベシ
 『人の心に隠れ沼の定かには見えぬものから、そのよきも終にあらはれ、そのわるきも終にあらはる。おしなべて亡き後にこそ定かなれ。さばれそのよき人といふとも祿もなく位もあらで、名を後の世に遺せる者は只その人の徳にあり、學びの力によらぬはなし』
- (二) 左ノ全文ニ訓讀ノ捨假名ヲ加ヘヨ(解釋ヲ要セズ)
 一國之經濟猶一家之經濟。智徳之所在。即貨財之所在也。技藝之所在。即貨財之所在也。勞力之所在。即貨財之所在也。或有智徳。或有技藝。或有勞力。而貨財自然歸之。是之謂福。無智徳。無技藝。無勞力。而貨財歸之。是之謂禍。今有一

搜

善後生

少年于此。無智徳而有貨財。則驕傲汰肆。未有不招凶禍者也。未有不轉而至子貨財蕩盡者也。

- (三甲) 左記ノ各句中ニ在ル漢字ノ右傍ニ假名ニテ讀方ヲ記シ、下方ニ各句ノ解釋ヲ記スベシ
- (イ) 陶朱猗頓の富
- (ロ) 鵝蚌の争漁夫の利となる
- (ハ) 隣を得て鬻を望む
- (ニ) 利用厚生
- (ホ) 般鑑遠からず
- (三乙) 左記ノ假名ヲ字畫明瞭ナル漢字ニ書改メ答案記入ノ箇處ニ記載スベシ
- (ヘ) バクダイ(最モ大ナリトイフ事) 莫大
- (ト) シコウ(スキコノム事)
- (チ) ヒダ(國名)
- (リ) ツシマ(國名)
- (ヌ) ヘイガイ(ガイアルコト)

少年于此。無智徳而有貨財。則驕傲汰肆。未有不招凶禍者也。未有不轉而至子貨財蕩盡者也。

少年于此。無智徳而有貨財。則驕傲汰肆。未有不招凶禍者也。未有不轉而至子貨財蕩盡者也。

(ル) ソウサク(サガスコト)

(ヲ) ゼンゴサク(跡始末ナツクル事)

(ワ) シツセンキユウカウ(實地ニフミオコナフ事)

搜索

櫻

八三八

小樽高等商業學校

●國語漢文

(一) 治天下者定所尚所尚一定至於千萬年而不變使民之耳目純於一而子孫有所守易以爲治故三代聖人其後世遠者至七八百年夫豈惟其民之不忘其功以至於是蓋其子孫得其祖宗之法而爲依據可以永久夏之尚忠商之尚質周之尚文視天下之所宜尚而固執之以此而始以此而終不朝文而暮質以自潰亂故聖人者出必先定一代之所尚

右句讀訓點及解釋

(二) 百尺竿頭進一步

氷炭不相容

汗牛充棟

孩提

多岐亡羊

右字句ヲ解釋スベシ

盛岡高等農林學校

●漢文

忠者爲人謀事盡己中心懇到深初無所不至之行也恕者推己心及諸人忖度體察無所不盡之行也詩者志之所之也內有志則言必動是詩之所由而起也古之詩徒無工拙之撰唯視其趣向之邪正是思無邪之謂也
先生 先生嚮木履以衣食適有同居者病貧無供藥餌先生盡典賣經籍衣服以資之人目之曰皮履先生

右ノ文ニ句讀、訓點ステ假名ヲ附スベシ

櫛比 逍遙 等閑 登極 風馬牛不相及

右語句ノ讀方ヲ附シ並ニ意解セヨ

鹿兒島高等農林學校

●國語漢文

(一) 左ノ漢文ヲ漢字交リ文ニ改ムベシ

育立學校入學試験問題

遙聞隱隱有響知是華嚴瀑不遠左入側徑愈近愈轟既至薛崖峭絕處乃見一巨瀑直下五十餘丈勢躍玉龍響奔鐵騎使人目眩氣奪俯瞰之窈然雲深底竟不可得見遂攀援樹根至瀑口則流不甚急掬飲極清冽自一幽境也

(二) 左ノ語ノ讀方ト意義トヲ記セヨ

歷患難壽。人皆有不忍人之心。非禮勿言。恭謙。年中行事。

水産講習所

●漢文

(一) 左ノ文章ニ句讀訓點ヲ附シ別紙ニ其意義ヲ解釋スベシ

夫人爲萬物之靈其性莫不所具則其於藝宜莫所不能然又有性近者有性不近者性近者與馬之馳牛之曳類也性不近者而欲強而爲之是使鷄守盜狗司晨也是故君子之攻藝擇性近者而專修之則藝斯至矣

(二) 左ノ語ノ右傍ニ片假名ニテ字音ヲ附シ下ニ意義ヲ解釋スベシ

狼藉

庭訓

伯樂

網罟

盤根錯節

俯仰不愧天地

赫陣之功

丙午丁未之歲

商船學校

●國語漢文

大高忠雄稱源吾淺野長矩臣也長矩國除忠雄與弟小野寺秀富甥岡野包秀俱赴義母小野寺氏謂之曰汝等上無負先君下無辱祖先我復何憂忠雄等益奮勵留母於國往京師尋赴江戶偵諜數月還京後將再赴江戶貽書母曰雄今年三十又一秀富二十又七包秀二十又三並少壯勇銳以此決鬪孰能當者大響在吾掌握幸勿以爲念獨所恨者吾母既老侍養無人將何以慰餘年哉雖然忠孝不得兩全母之所知今復何言如姊妹乳母請善諭之勿令悲慟願母以暇日詣寺院焚香禮佛優游自適亦可以忘憂矣今當永訣臨紙涕泣不知所言既至江戶變姓名曰脇屋新兵衛

東京外國語學校

●國語漢文

官立學校入學試驗問題

(一)

左ノ文ノ内ノ、傍線ヲ施シタル片假名ノ部分ニ、適當ナル漢字ヲ宛テヨ
又左ノ文ノ内ノ、●點ヲ附シタル部分ニ、舊假名遣ヨリ見テ、誤ナキカ。之
ニ對スル是非ノ意見ヲ問フ。

人生れて呱呱の^{コエ}をハツするより、長じて一個の成人となり、^{ジエイツク}
ワツして世に立つに至るまで、他より受くる所の恩徳、一ならず。之を近く
してまづ父母の恩あり、之に次いでシチャウの恩あり。更に又シンソ^ン及び國
家の恩あり。……我等がワツカにコクビヤクを^ベンする頃より、長じて社會
に出づるに至るまで、我等を誨ふるにシリを以てし、我等に説くにダウトク
を以てし、必要なる學術上のチシキをサツケ、シンタイ、ホゼンの法をコウ
せしめ、我等をしてシチャウライ世間にドクリツするキソを成さしむるものは、
我等がシチャウに非ずや。シンソはジンシなるオホミココロを以て臣民をア
イブし、宏大なる御靈徳を以て國家をトウキシ給ひ、國家各種のキクワンは
生民のアンネイをキデし、其のフクシをジウシンし、兇惡を正し、不逞を罰
し、以て我等が父母シチャウをして我等に對するジアイクンタウのツトメを
マツタふせしめ、又、我等をしてキナンをウレヌすして安全なるハツイクを

トグることを得しむ、若し國家にして其のツトメを成さずんば、生民亂離、
トマンのクルシミにオチイリて、我等はつゝに安全なるハツイクをどぐるに
ヨシなけん。我等の安全なるハツイクをどげて一個の成人となるは、實に此
等數者の恩あるに由る。

陸軍地方幼年學校

●讀 書

(一)

- 左ノ文ニ讀ム通りノ假名ヲ附ケヨ例ヘバ「國富^{クニト}ミ兵強^{ヘイショウ}シ」ノ如シ
- 一、國ノ隆興ハ、國民ノ元氣ノ旺盛ナルニ由ル。元氣ノ旺盛ナルハ、精神ノ
陶冶ト、身體ノ鍛鍊トニ關セザルコトナシ
- 二、倫敦ノ市街ハ繁盛、巴里ハ壯麗、伯林ハ清潔、羅馬ハ古雅ヲ以テ、相著
ハレ申候
- 三、素盞鳴尊ハ、八岐ノ大蛇ヲ斬リ、其尾カラ、神劍ヲ獲テ、天照大神ニオ
上ゲニナリマシタ。劍ノ名ヲ天叢雲劍ト申シマス

官立學校入學試驗問題

- (二) 左ノ文ヲ口語ヲ用ヒテ分リ易ク解釋セヨ
 - 一、凡ソ人、當然ノ時ニ於テ、否ノ一語ヲ言フハ、安全ノ道ナリ。蓋シ許多ノ人否ノ一言ヲ言フ能ハザルニ由リテ、其身其家ヲ傾クルニ至ルナリ
 - 二、御身等ハ命令ニ服従スト云フコトハ美德ナリトイフコトヲ忘ルルナカレ
- (三) 天皇陛下ノ命令ニ服従スルハ純良ナル臣民ノ義ナリ
 - 左ノ語ヲ口語ヲ用ヒテ分リ易ク解釋セヨ
 - 一、武士ハ喰ハネド高楊枝
 - 二、瓜ノ蔓ニハ茄子ガナラヌ
 - 三、壽カヌ種ハ生エヌ
- (四) 左ノ語ニ讀ム通リノ假名ヲ附ケ且ツ口語ヲ用ヒテ分リ易ク解釋セヨ
 - 一、家門ノ譽
 - 二、内裏
 - 三、新嘗祭
 - 四、追懷
 - 五、抽籤
- (五) 左ノ口語ヲ用ヒテ分リ易キヤウニ解釋セヨ
 - 一、瞬時ノ機會
 - 二、鮮血淋漓タル戰場
 - 三、直徑凡ソ尺餘
 - 四、需用供給ノ振合
- (六) 左ノ語ノ右傍ニ讀方(片假名)ヲ記セ例ヘハ「真心」ノ如シ

常 抽籤 常 籤
 常 抽籤 常 籤

抽籤

- 一、諺
- 二、見積書
- 三、物語
- 四、賞牌
- 五、設計圖
- 六、木陰
- (七) 左ノ語ノ左傍ニ漢字ヲ記セ例ヘハ「天氣豫報」ノ如シ
 - 一、くもり曇
 - 二、はるさめ梅雨
 - 三、たはた雨
 - 四、いなほ梅
 - 五、ごこくぼうちゆく
 - 六、ふくいきようへい
- (八) 左ノ語ノ右傍ニ讀方(片假名)ヲ記セ例ヘハ「朝顔」「安心」ノ如シ
 - 一、蒔 繪
 - 二、欄 間
 - 三、玉垣御門
 - 四、麗 し
 - 五、慕はし
 - 六、鑄 る
 - 七、侮 る
 - 八、瑞穂の國
 - 九、葡萄牙
 - 十、蝦 夷
- (九) 左ノ語ニ文字ノ誤アラバ正シキ字ヲ其ノ右ニ書ケ
 - 一、修住民
 - 二、眷眷服鷹
 - 三、謹儉貯蓄
 - 四、味増醬油
 - 五、清潔法行き風

migrant

陸軍士官候補生

官立學校入學試験問題

● 讀 書

(一) 左ノ文ニ句讀、返リ點、送リ假名ヲ附スベシ
 臣本布衣躬耕於南陽苟全性命於亂世不求聞達於諸侯先帝不以臣卑鄙猥自枉屈
 三顧於草廬之中諮臣以當世之事由是感激許先帝以驅馳後值傾覆受任於敗軍
 之際奉命於危難之間爾來二十有一年矣先帝知臣謹慎故臨崩寄臣以大事也受命
 以來夙夜憂歎恐付託不效以傷先帝之明故五月渡瀘深入不毛今南方已定甲兵已
 足當獎率三軍北定中原庶竭駑鈍攘除姦凶興復漢室還于舊都此臣所以報先帝而
 忠陛下之職分也

(二) 一、左ノ文ニ句讀返リ點送リ假名ヲ附スベシ

治國安家得人也亡國破家失人也含氣之類咸願得其志軍識曰柔能制剛弱能制
 強柔者德也剛者賊也弱者人之所助強者怨之所攻柔有所設剛有所施弱者有所
 用強有所加兼此四者而制其宜

二、左ノ文ヲ解釋スベシ

今人乍見孺子將入於井。皆有怵惕惻隱之心。非所以內交於孺子之父母也。
 非所以要譽於鄉黨朋友也。非惡其聲而然也。

(五) 左ノ文中施線ノ語句ヲ解釋スベシ

君子之事君。委吏乘田。不敢苟且。況風教之關治者。豈獨可忽乎。然則退而
 養親。助其風教。乃所以忠於君也。忠與孝。固不二其本。在所處何如耳。而
 立忠孝不全之說者。輒曰。家居養親。則不能致身於君。是徒知夙夜在公之爲
 忠。而不知扶植綱常之爲大忠也。又曰。以死殉難。則不得力竭於父母。是徒
 知冬溫夏凊之爲孝。而不知殺身成仁之爲大孝也。

左ノ文ヲ漢文ニ改作スベシ

楠公ノ行在ニ詣リテ天子ニ對ヘタテマツルヲ觀ルニ、曰ク、臣ニシテ未ダ死
 セズンバ、賊、滅セザルヲ患ヘタマハザレト。

海軍兵學校

● 國語及漢文

(一) 左ノ文ニ讀ム通リニ片假名ヲ附スベシ例ヘバ
 海内皆言兵藏孫吳之書者家有之而兵愈弱言戰者多披甲

官立學校入學試驗問題

者少也

善爲臣者。不厚於身而厚於君。不潤於室而潤於國。厚於君忠也。潤於國公也。既忠且公。君其薄之哉。民其怨之哉。祿位其去之哉。雖不厚於身而身自厚矣。不潤於室而室自潤矣。

(二)

左ノ文ニ送り假名及返點ヲ附スベシ
重盛排門而入。至大庭椋樹下。與源義平。大戰紫宸殿前。七匝櫻橋樹。出至太宮巷。杖弓以息。平家貞目之曰。可謂平將軍再生矣。重盛更兵復入。義平呼曰。我源氏嫡子。公平氏嫡子。宜與決死也。重盛曰。諾哉。

(三)

左ノ文ヲ口語ニ直シ別ニ傍線ヲ附シアル句ヲ解釋スベシ
蓋し將は才以て物を將ふるに足るの稱、帥は智以て人を帥ふるの名也。危急草屯の時、其の用最も將帥にあり。滔々たる武夫も、謀を好み機を挫くの精にあらずんば未だ其の任に中らず。故に將帥の用たる、必ずしも攻戰を以てせず。折衝敵を屈するの智を要し、誠信撫教の實に本づく。其の任重し、其の選豈得易からんや。

危急草屯の時

滔々たる武夫

謀を好み機を挫くの精

折衝敵を屈するの智

誠信撫教の實

(四)

左ノ句中傍線ヲ附シタル語ヲ漢字ニ直シテ括弧内ニ書クベシ

(イ) 名ヲアゲ家ヲ興ス

(ロ) 家ヲアゲテ南米ニ移住ス

(ハ) 君子ハ獨ヲツツシム

(ニ) ツツシミテ君ガ代ヲ祝ス

(ホ) 日ニ三度我身ヲカヘリミル

(ヘ) カヘリミテ他ヲ言フ

(ト) 馬ヲ陣頭ニススム

(チ) 善ヲススメ惡ヲ懲ラス

(リ) 兵ヲ以テ萬一ニソナフ

(ヌ) 幣帛ヲ神前ニソナフ

(五) 次ノ句ノ右傍ニ讀方ヲ附シ括弧内ニ意義ヲ書クベシ

(イ) 金甌無缺ノ國體

(ロ) 唇齒輔車ノ關係

(ハ) 嶄然頭角ヲ見ハス

(ニ) 誰カ鳥ノ雌雄ヲ知ランヤ

(ホ) 附和雷同

海軍機關學校

●國語及漢文

左ノ(一)(二)(三)(四)解釋(五)平易ナル口語ニ改メ其黑點ヲ附セル辭句解釋

(一) 上は公卿大夫より、下は布衣褐巾の士に至るまで、苟くも學に志せるものは、皆一たび先生の警效に接せんことを望みたりき。

(二) どの積るに隨ひ、其聲名ますます高くなりもて行きて、遂に九重の上にも聞え、遠く柳營の中にも達しぬ。

(三) 普天の下、王土に非るは莫く、率土の濱、王臣に非るは莫し。

(四) (イ) 大聲は俚耳に入らず。(ロ) 朋黨比周。(ハ) 尸位素餐。

(ニ) 大同小異。(ホ) 大車輪の活躍。

(五) 肅宗明皇帝名紹。幼而聰慧。嘗有使者從長安來。元帝問紹曰。長安近歟。日近歟。紹曰長安近。但聞人從長安來。不聞人從日邊來。元帝奇其對。一日與羣臣語及之。復以問紹。紹曰。日近。元帝愕然曰。何異聞者之言邪。紹曰。舉頭見日。不見長安。元帝益奇之。及長仁孝。喜文辭。善武藝。好賢禮士。受規諫。與庾亮溫嶠等。爲布衣之交。

海軍經理學校

●漢文

左ノ文章ニ句讀訓點及ビ解釋ヲ附スベシ

(一) 孟子曰有天爵者有人爵者仁義忠信樂善不倦此天爵也公卿大夫此人爵也古之人修其天爵而人爵從之今之人修其天爵以要人爵既得人爵而棄其天爵則惑之甚者

也終亦必亡而已矣

左ノ文章ニ句讀訓點ヲ附スベシ

(二) 義經發京師艤于渡部東兵不習水戰人人自危梶原景時曰請爲逆櫓義經曰何謂逆櫓曰舳艫皆設櫓進以舳退以艫義經曰求進而退兵之通患乃欲求退乎曰宜進而宜進退而退良將也有進而無退野豬而介者耳義經變色曰猪乎鹿乎吾不自知吾唯知進而剿敵爲快而已公若爲大將逆櫓千百聽公所爲若義經則不欲也

左ノ語ヲ解釋スベシ

(三) 溫清定省 貨悖而入者亦悖而出 騎虎之勢 尸位素餐
百聞不如一見 梅檀從二葉香

大正三年

第一二三四五六七八高等學校

●漢文解釋

左ノ文章ニ返點及送假名ヲ附ケ且ツ解釋セヨ

(一) 今日友道廢缺。切磋之言久絕於耳。苟有規我者。當扑躍受之。雖則毀短無根之言。亦不敢辨其是非得失。庶幾能致人言而省我過也。
(二) 文天祥性豪華。平生自奉甚厚。及勤王詔至。奉之涕泣。痛自抑損。擲家貲爲軍費。起兵以來。斷斷焉殫力竭謀。扶顛持危。以興復爲己任。

東北大學農科大學

●漢文解釋

左ノ文ヲ解釋セヨ

(一) 智術之士、必明察、不明察不能燭私、能法之士必勁直、不勁直不能矯姦、人臣按法而治官、非謂重人^{カキク}也。
左ノ文ノ讀方ヲ全部片假名ニテ書下シテ記スベシ
(二) 其功烈已蓋於當世矣。至於流風餘韻、萬然被於江漢之間者、至今人猶思之。

東京帝國大學農科大學實科

●國語及漢文

(一) 德川家康、甫十歲。出游安倍河原、觀兒童石戰。一群百五十人、一群倍之。觀者爭就其衆者。家康在僕背、命就其寡者。家康曰、衆者自恃其衆、寡者自知其寡。寡者勝矣。果如其言。

●專門學校入學者檢定試驗

●漢文

(一) 宋有富人。天雨牆壞。其子曰。不築必將有盜。其鄰人之父亦云。暮而果大亡其財。其家甚智其子。而疑鄰人之父。

(二) 劉忠定公見溫公。問盡心行己之要。可以終身行之者。公曰。其誠乎。劉公問行之何先。公曰。自不妄語始。

右二問ハ國文ニ直譯シテ解釋スベシ

(三) (イ) 吾畏其卒。故怖其始。

(口) 松下縱橫餘履齒。門前輾轉想君車。

(ハ) 和氣致祥。乖氣致異。

(ニ) 心不在焉。視而不見。聽而不聞。

(ホ) 所當者破。所擊者服。未嘗敗北。

右解釋

(四) (イ) 四書五經ノ名ヲ記セ、

(口) 絶句律詩トハ如何ナルモノカ、

東京高等師範學校

●漢文

(一) 左ノ文ニ句讀、返點及送假名ヲ附シ解釋ハ別紙ニ認メヨ
 事孰爲大事親爲大守孰爲大守身爲大不失其身而能事其親者吾聞之矣失其身而能事其親者吾未之聞也孰不爲事事親事之本也孰不爲守身守之本也

(二) 左ノ文ニ直ニ句讀、返點及送假名ヲ附シ解釋ハ別紙ニ認メヨ

官立學校入學試驗問題

趙括自少時學兵法言兵事以天下莫能當嘗與其父奢言兵事奢不能難然不謂善括母問其故奢曰兵死地也而括易言之使不將括即已若必將之破趙軍者必括也

廣島高等師範學校

●漢文

- (一) 人之於身也兼所愛兼所愛則兼所養也無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不養也所以考其善不善者豈有他哉於己取之而已矣體有貴賤有大小無以小害大無以賤害貴養其小者為小人養其大者為大人今有場師舍其梧櫨養其棘棘則為賤場師焉養其一指而失其肩背而不知也則為狼疾人也飲食之人則人賤之矣為其養小以失大也飲食之人無有失也則口腹豈適為尺寸之膚哉
- (二) 陶侃為荊州刺史性聰敏勤於吏職恭而近禮愛好人倫終日歛膝危坐閫外多事千緒萬端罔有遺漏遠近書疏莫不手答筆翰如流未嘗壅滯引接疏遠門無停客常語人曰大禹聖人乃惜寸陰至於眾人當惜分陰豈可逸遊荒醉生無益於時死無聞於後是自棄也

以上句讀訓點解釋

- (三) (一) 綱常 (二) 指紳 (三) 豹變 (四) 估特 (五) 掣肘
- (六) 物故 (七) 食言 (八) 桑梓 (九) 出藍 (十) 忠信
- (十一) 風樹之嘆 (十二) 尸位素餐 (十三) 孔曾思孟 (十四) 五風十雨
- (十五) 金蘭之契 (十六) 膏粱子弟
- 以上解釋

各醫學專門學校

●漢文

左ノ文章ニ返點及送假名ヲ附シ且ツ解釋セヨ

馬援嘗曰。大丈夫當以馬革裹屍。安能死兒女手。武陵蠻反。援請行。帝愍其老。援被甲上馬。據鞍顧眄。以示可用。上笑曰。矍鑠哉是翁。乃遣之。

新潟醫學專門學校

官立學校入學試驗問題

●國語及漢文

左ノ漢文ニ送假名ヲ施シ且之ヲ解釋セヨ

司馬溫公嘗曰。凡爲家長。必謹守禮法。以御群子弟及家衆。制財用之節。量入以爲出。稱家之有無。以給上下之衣食及吉凶之費。裁省冗費。禁止奢華。常存贏餘。以備不虞。位居卿相之貴。而恭儉重禮如是。

米澤高等工業學校

●國語及漢文

(一) 左ノ文中傍線ヲ附シタル字句ヲ解釋セヨ

西行法師後に此の時の事を人に語りて云ふ「右大將はまことにねぢけたる君也口に蜜したまへど心には針のおはするぞ漢高の大度曹孟徳の智略あるに似て天下の人皆此の君の網の中に入れられたるは我が佛の冥福といふ事を生れながら得させけん只悲しむべきは神の御裔の此の後やうやう衰へさせたまはん世の姿なるは」

(二) 左ノ詩歌ヲ解釋セヨ

世人結交須黃金不多交不深縱令然諾暫相許終是悠悠行路心

(三) 左ノ文ニ句讀、返リ點及ビ送り假名ヲ施スベシ

正行上言曰先臣正成嘗以微力挫強賊以安先帝宸憂及天下再亂逆賊四襲遂致命於湊川臣時年十一命歸河内囑以收合餘燼報復國讐臣年已壯矣而稟性羸弱常念不及今力戰以有待之身罹無虞之疾上爲不忠之臣下爲不孝之子而今賊渠帥大舉來犯是真臣致命之秋也

(四) 左ノ文ニ句讀、返リ點及ビ送り假名ヲ施シ且全文ヲ解釋セヨ

宋人得玉獻諸司城子罕弗受獻玉者曰以示玉人玉人以爲寶故獻之子罕曰我以不貪爲寶爾以玉爲寶若以與我皆喪寶也不若人有其寶

盛岡高等農林學校

●漢文

左ノ(一)(二)ニハ句點、返點及送り假名ヲ施シ(三)ニハ字音ヲ附シ(一)(二)(三)

官立學校入學試驗問題

トモ別々ニ解釋ヲ記スベシ

(一) 粟米布帛生於地長於時聚於力非可一日成也數石之重中人人弗勝不為姦邪所利一日弗得而饑寒至是故明君貴五穀而賤金玉

(二) 衣冠所以為容貌也稱體斯美矣世人舍其所稱聞人所尚而慕之豈非以耳視者乎飲食之物所以為味也適口斯善矣世人取果餌刻鏤之朱綠之以為盤案之翫豈非以目食邪嗚呼衣食之奢日甚一日不以耳視而目食者鮮矣

(三) 欸乃

(口) 壘斷

(ハ) 萬機

(ニ) 木強

(ホ) 繪言

(四) 椒房

(ト) 舊張肝食

(チ) 個儻

(リ) 倚藉

(又) 椽大之筆

鹿兒島高等農林學校

●國語漢文

(一) 左ノ漢文ヲ假名交リ文ニ改ムベシ

(二) 黃河左右自古稱為中原治世則常為文物之會亂世則為兵爭地中帶之民勢力常遜

北人而土田之美水運之利却勝北地支那之富源實在于茲故戶口繁殖殆倍北帶而四倍南帶江蘇安徽浙江三省人煙最稠密幅員不大於我邦而人口殆三倍之南帶昔時荒裔之地自西國通商以來埠頭並設買舶雲集遂為富盛之地

(三) 左ノ語ノ讀方ト意義トヲ記セヨ

篤行。人一能之己百之。重然諾。保管。勝手道具。彼岸前後。

東京高等商業學校

●國語及漢文

左ノ文章ニ返點ト送假名トヲ施シ傍線ヲ附シタル箇所ヲ餘白ニ解釋スベシ

(一) 窮居而野處、升高而望遠、坐茂樹以終日、濯清泉以自潔、採於山、美可茹、釣於水、鮮可食、起居無時、惟適之安、與其有譽於前、孰若無毀於其後、與其有樂於身、孰若無憂於其心、車服不維、刀鋸不加、理亂不知、黜陟不聞、大丈夫之不遇於時者之所為也

長崎高等商業學校

●國語及漢文

- (一) 左の語を解釋すべし
五倫五常 拳々服膺 規矩準繩
- (二) 左の語に普通のみがなを附すべし
教師 素生 醒醒 八日 鹽 貝 岩 馬 倚藉
- (三) 左の語に漢字を充つべし
そば ばん いわし かつを かすり しぼり あんばい めんだう
- (四) 左の文中の誤謬を訂正すべし
巴已の年圖らざりし九州の地に於りて工業の盛にして商業の興るつゝあるを
視概歎に絶えず深く自ら決せる所ありたり
- (六) 左の文に句讀訓點を施すべし
君不約己而禁人爲非是猶惡火之燃添薪望止其燄忿池之濁撓浪欲澄其流不可得

山口高等商業學校

●國語及漢文

- (一) 左ノ文章ニ返リ點及送り假名ヲ附シ且ツ○點ノ箇所ハ別ニ之ヲ解釋スベシ
齊人有二妻一妾而處室者其良人出則必饜酒肉而後反其妻問所與飲食者則盡富貴也其妻告其妾曰良人出則必饜酒肉而後反問其與飲食者盡富貴也而未嘗有顯者來吾將闕良人之所之也蚤起施從良人之所之徧國中無與立談者卒之東郭墦間之祭者乞其餘不足又顧而之他此其爲饜足之道也

神戸高等商業學校

●漢文

- (一) 次ノ文章ニ返リ點ヲ附シ、且ツ全文ノ解釋ヲ左方ノ空處ニ記入セヨ
大阪百貨之府。其所由來蓋久遠矣。市人營營趁利。殆不省其他。故世人往往有異焉者。然是千餘年來習俗。而素封家之多。職此之由。
- (二) 左ノ語句ノ右傍ニ讀方ヲ附シ、下方ニ解釋ヲ記セ

官立學校入學試驗問題

- (イ) 形而上
- (ロ) 詭辯
- (ニ) 憧憬
- (ホ) 曠日彌久
- (ヘ) 江湖
- (ト) 匹夫
- (チ) 抱負

● 讀書

(一) 次ノ漢文ヲ素讀ノママノ假名交リ文ニ改メ左方ノ空處ニ記入セヨ
 余足跡幾半海内。弱冠東遊。得妙義山。以爲無雙。今耶馬溪百里。如妙義者。不知幾十峰。謂之海内第一。或不誣也。

(二) 左ノ語句ノ右傍ニ讀方ヲ附シ、下方ニ解釋ヲ記セ

- (イ) 形而上 ト上の (ロ) 詭辯 つひつひ (ハ) 直情徑行 しんじやうていぎやう
- (ニ) 憧憬 ちやうけい (ホ) 曠日彌久 くわうじつひやく (ヘ) 江湖 かうこ
- (ト) 匹夫 びつぷ (チ) 抱負 ほうふ

小樽高等商業學校

● 漢文

古者諫無官自公卿大夫至於工商無不得諫者漢興以來始置官夫以天下之政四海之衆得失利病萃於一官使言之其爲任亦重矣居是官者當志其大捨其細先其急後其緩專利國家而不爲身謀彼汲汲於名者猶汲汲於利也其間相去何遠哉
 右句讀訓點及解釋

水産講習所

● 漢文

- (一) 予嘗學泗其人教而曰學泗先須學沒能得沒則不畏沒故善泗又嘗學御其人教而曰學御者先須學其墜能知墜則不畏墜故善御予從其教二事思皆過半矣
 - (二) 朝聞道夕死可矣
 - (三) 施諸己而不願亦勿施於人
- 右の文章に句讀訓點を附し別紙に其の意義を解釋すべし

商船學校

官立學校入學試驗問題

●國語漢文

左ニ句讀訓點ヲ施シ講述セヨ

小宮山内膳之父丹後以武田世臣事信玄守土野松枝城頗以驍勇著名内膳剛直不忝爾所生數忤倭幸權貴故勝頼惡之及與小山田將監忿爭勝頼信讒逐之夫遭讒廢黜而無怨懟之色此固人臣之分未足揄揚而能從容處之者既鮮矣至於放逐在外而赴君之難慷慨激烈見危授命者則千百人中難得一二豈非曠世義士也哉北條高時之滅也大佛貞直之臣本間某蒙譴屏居于家赴難力戰自屠以報主舉世稱之内膳之處義殆無所媿語曰疾風知勁草世亂識忠臣若内膳者可以爲人臣之勸矣

東京外國語學校

●國語漢文

(一) 左ノ文ノ内ノ片假名書キノ部分ノ右側ニ其處ニ適當セル漢字及ビ假名ヲ書ケ象山ツトニ眼を海外にソソギ譯書或は蘭學者にツイテ砲術船艦の事をケンサンスと雖も原書を讀まざるを以て隔靴の歎なきアタワズ時に加州の人黒川良

庵象山のシユクにあり毎夜竊に原書を讀む象山之を知り大に喜び良庵に謂つて曰く吾久しく蘭語を學ばんとす未だ其のジキを得ず請ふシニツイテ之を學ばんと是より象山日に良庵にツイテ蘭書を讀む良庵歸郷の後都下の蘭學者をトイ、オノレヲムナシウシテ之をタダシ終に英佛獨の語を修め羅旬語に及ぶ曰く我年既に四十豈にイツラクを欲せざらんや然れども今日コッカノキユウヲスクウは原書を讀み海外の事情にセイツウスルに在り我幸に人と生る豈に天の靈寵をムナシウスベけんや

(二)

左ノ漢字ノ右側ニ、ソノ訓ミ聲ヲ、發音ノマ、ニ、片假名ニテ、書キツケヨ

折角	祝儀	會釋	松明	旅籠
幹旋	義捐	納得	打擲	出納

陸軍地方幼年學校

●讀書

(一) 左ノ二文共ニ讀ム通リノ假名ヲ附ケヨ例ヘバ「國民ノ元氣旺盛ナリ」ノ如シ

官立學校入學試驗問題

(一) 蜜蜂ノ群集生活ヲ營ムコトヲ得ルハ、共同團結シテ勞働ヲ厭ハズ、有力ナル武器ヲ備ヘテ敵軍ニ當リ、團體ノ爲メニハ、身命ヲ惜マザルニ由ル。
 東ニ筑波ヲ望ミ、西ニ富士ヲ眺メ、朝ニハ軍馬ノ嘶ク聲、馬場ニ勇マシク、夕ニハ竹刀ヲウチアフ音、擊劍場ニ響キ渡リ、誠ニ壯快ヲ極ムルハ、陸軍士官學校ニ御座候。

(二) 左ノ文ヲ口語ヲ用ヒテ解釋シ——ヲ施シアル字ノ右傍ニ讀方(片假名)ヲ附ケヨ

(三) 笠置の山の行在所、寄する雲霞の敵兵に、行方も知らず落ち給ふ。君の御供に仕へしは、藤房季房唯二人、夜晝三日供御もなく、歩みつかれて松かげに、息はせ給ふかしこさよ。

(四) 左ノ語ノ右傍ニ讀方(片假名)ヲ附ケヨ
 國の礎 感泣 彼方此方 複雑 興味 聽衆
 左ノ語ニ讀方(片假名)ヲ附ケ且ツ下段ニ分リ易ク解釋スベシ
 天氣豫報 職 責 就學兒童 世人ノ爪彈 一致協同
 島合ノ衆 交通機關 西班牙 輸出入 臨機應變

(四)

一、左ノ語ノ左傍ニ漢字ヲ記セ例ヘバ「かんかく」ノ如シ

しごくべんり くわつぱつ

感 覺
ゆきだるま

じんぐんらつぱ がいせん

かんになぶくろ

二、左ノ語ノ右傍ニ讀方(片假名)ヲ附ケヨ例ヘバ「兵隊」ノ如シ

頭腦 生意氣 平穩 發揮 不釣合 終局

(三)

三、左ノ語ヲ下段ニ分リ易ク解釋セヨ

一生懸命ニ活動ス 日本晴 崖下ニ轉墜ス 唯一ノ娛樂

(五)

一、左ノ文中——ヲ施シアル所ニ漢字ヲ記セ例ヘバ「トウキヤウ」ノ如シ

身體ケンゼンナル人ハセイシンモ亦クツイクワツニシテ耳目ニフルモノ皆
 樂シ心樂シケレバ自ラ笑フ故ニ笑フベシ常ニ笑フベシ笑ハント欲セバエイセ
 イニチウイシ身體ヲケンゼンニスベシテンセイイクワツナル人モ身體ノ
 ケンゼンヲ害スレバ意義モ亦オトロヘテ笑フコト少シ

二、左ノ文字ノ扁名及ビ冠名ヲ記シ之レヲ用ヒテ新ニ文字各々一字ヲ作レ
 例ヘバイ(ニンベン)(作)ノ如シ

陸軍士官候補生

● 讀書

- (一) 左ノ文ヲ口語ニテ解釋スベシ
吾人ハ國民トシテ、其ノ三大義務ヲ全ウセザルベカラザルナリ。勇壯ノ詩歌ヲ誦スレバ、自ラ金革ヲ衽ニスル心ニナリヌベシ。朝恩ニ膏ク者ハ、近クハ百日、遠クハ三年ヲ過サズトコソ申シ傳ヘ侍レ。ハダニツケ申候物ニテ御座候ママ守リ袋シンジ參ラセ候。能ク我が國ノ過去ヲ知ツテ、能ク新來ノ長所ヲ探ル覺悟ガアラバ、今ノ時ハ眞ニ多望ノ前途ヲ胚胎ス得ル時代デアル。
- (二) 左ノ文ニ句讀、返點、送假名ヲ附スベシ
眇然小丈夫而已矣力不足以維鷄貌不足以加人而英氣一發滿堂潛伏以秦政之暴不得少折其節終完璧以選甚矣氣之能伸萬物之上也然氣生於志志奮於義義苟失矣匹夫猶且侮之安能逞於虎狼之秦哉相如唯知此義也故他於屈於廉頗如四體無骨亦能使頗肉袒謝罪而趙國賴以安世之悻悻者獨知其折秦而不知其所以能折之則別有在焉抑末矣

- (四) 左ノ語句ヲ漢文ニ改作スベシ例ヘバ「德天地ヲ動カシ義鬼神ヲ感ゼシム」
「德動天地義感鬼神」ト爲スガ如シ
餘賊又薄ラズ
汝宜シク擊チテ之レヲ取ルベシ
左ノ文ヲ解釋スベシ
好面譽人者亦好背毀之
鳥囚不志飛馬繫常念馳
左ノ文ニ句讀、返點、送假名ヲ附スベシ
石昌言官再制乃爲天子出使萬里之外強悍不屈之虜廷建大旆從騎數百送車千乘出都門意氣慨然自思爲兒時見昌言先府君旁安知其至此富貴不足吾於昌言獨自有感也大丈夫生不爲將得爲使折衝口舌之間足矣
左ノ文ニ句讀、返點、及バ送假名ヲ施シ且ツ全文ヲ解釋スベシ
一簞食一豆羹得之則生弗得則死噉爾而與之行道之人弗受蹴爾而與之乞人不屑也萬鍾則不辨禮義而受之萬鍾於我何加焉
- (五)

海軍兵學校

●國語及漢文

(一) 左ノ文ノ右傍ニ讀ム通リニ片假名ヲ附スベシ例ヘバ
クイダイミナヒヘイナサウスルソノシヨチモノハイゴトニアリコレシカモヘイヨイヨワレイフタダカヒチモノハオホクシテキルカフチ
 境内皆言兵藏 孫吳之書者家 有之而兵愈弱言戰者多披甲者少也

鄙諺曰。寧爲鷄口。無爲牛後。今西面交臂。而臣事秦。何異於牛後乎。夫以大王之賢。挾彊韓之兵。而有牛後之名。臣竊爲大王羞之。於是韓王勃然作色。攘臂瞋目。按劍仰天。太息曰。寡人雖不肖。必不能事秦。

(二) 左ノ文ニ送假名及返點ヲ附スベシ
 孟子對曰。王好戰。請以戰喻。填然鼓之。兵及既接。棄甲曳兵而走。或百步而後。止或五十步而後止。以五十步笑百步。則如何。曰。不可。直不百步耳。左ノ文ヲ解釋シ、傍線アル句ハ別ニ讀方(右傍ニ)及意義(括弧内ニ)ヲ記スベシ

武士道、この一語を以て、日本國民の大飛躍を闡明する鎖鑰とす。或は米食

を以て、或は水を飲むこと多きを以て、或は頻繁なる沐浴を以て、優勝の原
 因なりとするものあれども、これらは穿鑿に過ぎて滑稽に陥るの感なくんば
 あらず。十目の見るところ、古來の武士道は實にわが國民を不撓不屈の勇士
 たらしめしなり。背に矢を立つること勿れの諺も、矢と彈丸との差あるのみ、
 その諺の生命あるは、今も昔も異らず。

西洋人は基督教を以て、其の生涯の行爲を律する根本の準繩とす。日本人の
 中にこれにあたるものを求むれば、儒教にあらず、佛道にあらず、また神道
 にあらずして武士道なり。武士道はわが國民思想の精髓なり。

- (イ) 大飛躍を闡明する鎖鑰
- (ロ) 穿鑿に過ぎて滑稽に陥る
- (ハ) 不撓不屈の勇士
- (ニ) 背に矢を立つること勿れの諺
- (ホ) 根本の準繩
- (ヘ) 國民の思想精髓
- (四) 左ノ句ノ讀方ヲ右傍ニ、意義ヲ括弧内ニ記スベシ

(イ) 雲烟過眼

(ロ) 利權ニ均霑ス

(ハ) 尾大不掉

(ニ) 杓子定規

(三) 言肺腑ヨリ出ツ

(五) 左ノ名詞及句中黑點ヲ附シタル片假名ヲ漢字ニ直シテ括弧内ニ書クベシ

嶮 ケン 岨 ケン
 石 ケン 嶮 ケン
 勤 ケン 嶮 ケン
 根 テイ 嶮 ケン
 探 テイ 嶮 ケン
 難 ニアフ 嶮 ケン
 水 ラマク 嶮 ケン
 旗 ラマク 嶮 ケン
 嶮 ケン 嶮 ケン
 保 ケン 嶮 ケン
 テイ 宅 嶮 ケン
 テイ 操 嶮 ケン
 友人 ニアフ 嶮 ケン
 心 ニアフ 嶮 ケン
 種 ラマク 嶮 ケン

海軍機關學校

●國語及漢文

(一) 秦時不以權勢自異。常與諸將更直幕府。逮老不懈。當直之夕不敢薦也。每詣
 賴朝境。拜于堂下。或曰。盍上。曰。將軍在時。吾未得登。豈死將軍乎。
 右送り假名及ビ返點ヲ附セヨ

(二) (イ) (1) 剖符封功臣。鄒侯蕭何。(2) 食邑獨多。功臣皆曰。臣等(3) 被堅執銳。多者百
 餘戰。少者(4) 數十合。蕭何未嘗有(5) 汗馬之勞。徒持(6) 文墨。議論。顧反居(7) 臣等
 上何也。上曰。諸君知(8) 獵乎。逐(9) 殺獸者狗也。(10) 發縱指示者人也。諸君徒得
 走獸耳。(11) 功狗也。至(12) 如蕭何(13) 功人也。群臣皆莫(14) 敢言
 (ロ) 孔子曰。(15) 躬自厚。而薄責於人。則遠(16) 怨矣。
 右黑點ヲ附セル辭句ノ解釋ヲ左ノ餘白ニ記入セヨ

(四) (イ) 一目レウ然たり。
 (ロ) 疵にハウタイを施す。
 (ハ) 細節にコウデイせず。

- (二) 辭句をレンサクす。
 - (ホ) 毫も心にヤマシからず。
 - (ヘ) アミ曳して漁獲多し。
 - (ト) 頼光の四天王に渡邊ツナといふものあり。
 - (チ) 道鏡は皇位をキユセリ。
 - (リ) 夢かウツツかマボロシか。
 - (ヌ) 靴を隔て、カユキをカクが如し。
- 右傍線ヲ附シタル語ヲ漢字ニ改メテ括弧内ニ記入セヨ

海軍經理學校

●漢文

左ノ文ニ句讀訓點及ビ解釋ヲ附スベシ

- (一) 君子有三樂而王天下不與存焉父母俱存兄弟無故一樂也仰不愧於天俯不怍於人二樂也得天下英才而教育之三樂也君子有三樂而王天下不與存焉

(二)

至柿阪憩孤店店面石壁數丈飛泉懸焉仰則更有高峯不知其幾十丈余急釋所佩酒瓢命婦之寵突蕭然會一獵師新獲豪豬割而煮之肪脆如水連引數大白又行溪又數曲隨峯勢上下或激雷噴雪或停膏凝碧峰影爲之或碎或全似水妬山而亂其影也

左ノ句ヲ説明スベシ

- (三) 巧詐不如拙誠 衆口鑠金 水清無大魚 千里隄自蟻穴潰 前車覆後車戒 知足不辱 破山中賊易破心中賊難

受驗兼用 漢文自修提要 終

大正四年二月二十日印刷
大正四年二月二十五日發行

漢文自修提要

定價金壹圓

著作權所有

久保

著者 久保天隨

大阪市南區安堂寺橋通三丁目五十三番地

發行者 株式會社 積善館

代表者專務取締役

佃要三郎

大阪市南區饒谷西ノ町十四番地

印刷者 山本彌之助

發行所

大阪市南區安堂寺橋通三丁目
振替大阪二九八一番
電話長南二〇七〇番

株式會社 積善館本店

323
88

終